

尾道散策

民ク岡山撮影会と歩こう会では、

秋の合同企画として、十一月九日(金)

海と寺と坂道の町「尾道」散策に出かけた。

参加したのは、撮影会主体十二名、

歩こう会主体五名の合わせて十七名。

もつとも全員がカメラ持参とあって

期せずして「撮影&歩き」会の態(てい)

となった。

一行は、午前九時二十三分岡山駅発の山陽

本線快速「サンライナー」に乗車。

十時三十五分尾道駅到着。

写真同好会井垣幹事が、この日の大まかな

コースと見所を説明。

駅正面のフェリー乗り場付近から海(尾道

水道)沿いに歩き始める。

海を隔てた向島のドックに大小の起重機が

林立。狭い海路にフェリーや漁船が行き交い

船溜まりには漁船がたむろしている。

見上げる空は抜けるほどの青空。起き掛け

の肌寒さはどこえやら、歩くうちに汗ばんで

くる。

海側から山側に目を転じると、いくつもの

寺の屋根、仏塔が隙間なく並ぶ。古くから港

町として栄えた尾道は、豪商たちが競って寺

を寄進し、一方で板子一枚に身の安全を委ね

た漁師達にとつても、神仏に祈ることが日常

の務めであったろう。寺、寺、寺という町の

景観も肯ける。

いまは観光客のために、趣のある石段や

石畳、迷路のような坂の小路を巡る古寺巡り

コースが縦横に巡らされている。

遅めの到着だったので、一時間半ほどをか

けて海沿いを中心に歩き、思い思いにカメラ

のレンズを向け、昼食場所を目指した。

お目当ては、名物尾道ラーメン。旅のガイ

ドブックにも載っている行列の出来る店「朱

華園」なのでした。もちろん行列に並び、肩

を狭めてラーメンを啜った。「旨かった!」。

腹を満たしたからには歩かないでは。

まずは、長くて急坂な石段で知られる御袖

(みそで)天満宮を目指した。たどり着いた

神社の石段、その長いこと、急坂なこと、と

ても並みのものではない。「高齢者に優しい

ね」と、強がりやをいうのがやつと。学問の神

様に、「いままさら何を」という気持ちもあつ

たが、何がしかのお賽銭を供えた「学問好き

」もいたらしい。御袖天満宮から細長い坂道

を下り西国寺へ。西国一という真言宗の寺。

仁王門の大わらじが有名で、なるほど優に二

メートルは越すわらじが左右対に吊るされて

いる。この仁王門から金堂まで、またまた百

段の石段。登りましたよ。(先を急ごう)

続いて、千光寺山ロープウェイで千光寺へ。

千光寺境内から一望の市街地、向島大橋など

をカメラに収めた後、約一キロの「文学の小

径」を下って三々五々尾道駅へ集合。駅近く

のホテルのロビーで、熱いコーヒーなどを飲

みながら本日の反省会。帰りの車内でも、デ

ジカメ談義などこの日の会にふさわしい話題

に沸いて、疲れも何のその。(そうでない向

きもいましたかな。何しろ、ダブル百段の石

段は確かにこたえました) 報告終わり。

文責 松田通男 (RSK OB)



西国寺石段



良神社 (うしとらじんじゃ) 境内



写真 井垣武彦 松田通男
MinkOkayama-HP
2007/11 寄稿



西国寺仁王門



千光寺ロープウエー乗り場